

処遇改善加算の加算算定に係る当事業所の取り組みについて

- 福祉・介護職員処遇改善加算
- 福祉・介護職員等特定処遇改善加算
- 福祉・介護職員等ベースアップ等支援加算
- 令和6年6月以降の

福祉・介護職員等処遇改善加算の加算算定に係る「見える化要件」について

処遇改善加算を取得するためには、具体的な取り組み内容を「法人ホームページを活用するなどし

て、外部から見える形で公開すること」⇒「見える化」することが求められています。

当事業所の取り組み内容として【**職場環境等要件**】、【**資質向上のための計画**】を掲載します。

職場環境等要件について

区分	取り組み
両立支援・多様な働き方の推進	有給休暇が取得しやすい環境の整備
腰痛を含む心身の健康管理	事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成等の体制整備
やりがい・働きがいの醸成	支援の好事例や、 利用者やその家族からの謝意等の情報を共有する機会の提供

【生活介護事業所プルスペース】では下記の計画を基に、研修を行っていく。

1, 資質向上のための計画

(施設内研修)

研修テーマ	担当	4～7月	8月～11月	12月～3月	随時
施設の理念・方針	管理者	○			
支援について	主任支援員	○			
福祉事業の概要	副主任支援員			○	
支援の現場から 又は家族からの提言	支援員 又は利用者家族			○	
各委員会での研修・訓練 (全スタッフが所属・参加)	各担当者				○
相談の機会の確保 (キャリアアップシートの活用)	管理者			○	

(施設外研修)

内 容	参加者	時 期
強度行動障害支援者養成研修	研修未受講の職員	随時
行動援護従業者養成研修	研修未受講の職員	随時
福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 (初任者～管理職員向け)	経験・役割に応じた職員	随時

※ 外部研修については受講の希望や推薦にて参加者を決定する

2, 研修概要と目的

・施設の理念・方針

事業所内外の知識を深め、時代に合わせた運営を行うための研修を行う。

・支援について

障がい理解を深めながら、それぞれの持つ強みを引き出せる支援技術の研鑽に努める。

・福祉事業の概要

障害者総合支援法について学び、サービスの提供の仕組みについて理解を深めていく。

・支援の現場から

好事例報告や支援技法を共有し、「障がい特性」だけではなく「利用者個人」を重視する。

利用者個人に焦点をあて、アセスメントや課題分析、報告や検討を行いながらスタッフのスキルアップにつなげていく。

・家族からの提言

家族の立場から、これまでの療育や想いを話していただき、日々の支援に生かしていく。

・各委員会での研修・訓練

委員会に全スタッフが所属することで研修の実施、参加と円滑な情報共有を行う。

キャリアアップシート				作成日	R6年 月 日	管理者
氏名		Ⓜ	勤続 年目	職種		Ⓜ

【本年度の事業所内目標】

目標	
----	--

【自己覚知】 ※自分の感じ方、考え方の傾向、知識や技量について意識化して自ら把握しておくこと
 [現在] [今年度の目標]

長所		
課題		

【自己研鑽】 ※自身のスキルや能力を鍛えて、磨くこと

日付	項目 (研修・面談・メディア等)	学んだこと

【資質向上のための研修】 (資質向上のための計画を基に実施)

日時				
項目	施設の理念・方針	療育について	支援の現場から	福祉事業の概要
研修名				
担当者	管理者・サビ菅	主任支援員	支援員	副主任支援員
感想				

※好事例の共有と報告や
利用者家族からの提言

